



榛の花

大洲小学校だより

令和5年5月1日



伝わっていく「大洲の心」

4月7日、41名の入学生を迎えた日から、早いもので1ヶ月が過ぎようとしています。あっという間の1ヶ月でしたが、この期間、大洲小学校は子供たちの「頑張りたい」という気持ちで溢れていました。新しい仲間や学級担任との出会い。教室も教科書も新しくなりました。

新しいスタートというものは、子供にとっても大人にとってもワクワクするものです。そして更に、今年度は全校児童が集まることができるようになったことで、みんなで一緒に頑張ろうという気持ちを確認できるようになりました。子供たちが一堂に会して、みんなで手をたたき、笑い、歓声を上げる。これから起こることに対する期待ややる気に満ちあふれ、それは言葉に出さなくても自然に周りに伝わっていききました。

入学してまだ間もない1年生も、精一杯頑張っています。朝のお支度から始まって、着替え、給食の配膳も自分たちでできる様になりました。靴箱の靴も見事にそろえられています。忘れてはならないのが、それを支える上級生の姿があることです。登校班も新入生を迎えましたが、緑帽の1年生を上級生みんながいたわりながら、寄り添って登校してくる様子が毎日のように見られます。これまで下級生だった子も、しっかりとお姉さん・お兄さんになっています。私が心を動かされるのは、子供たちはそれを仕事としてやっているのではなく、心の底から純粋に「優しい気持ち」「あたたかな気持ち」「助けたいという気持ち」でやっていることです。こうやって、大洲の子供たちは人として大切にしたいことを受け継いでいくのだと思いました。

令和5年度が始まりました。今年度も、子供たちの様々な思いを全職員で応援していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。（文責:山本）



小学校生活が始まりました



全校色決め集会



給食配膳への挑戦



教室の後ろで1年生を見守る
6年生が作ってくれた王冠